

造影MR検査の説明書

造影MR検査とは、造影剤という薬剤を血管内に注射しながら行います。造影剤を使用することにより、病変部の特徴が詳細にわかり、正確な診断や治療方針の決定に関しての重要な情報が得られます。

◆ 造影剤の副作用について

造影剤は安全な薬剤ですが、まれに副作用が起きることがあります。この副作用が起きるかどうかをあらかじめ調べる方法は現在のところありません。ただし、アレルギー体質、喘息の既往、造影剤による副作用歴、腎機能障害などのある方は、副作用の起こる確率が高くなると言われています。また、今まで造影剤で副作用がなかった方でも副作用を発現することがあります。

軽い副作用	くしゃみ・かゆみ・発疹・嘔吐・動悸など	頻度 1% 以下
重い副作用	血圧低下・呼吸困難・意識障害・腎不全など	頻度 0.005%以下
重篤な副作用	死亡	頻度 0.000125%以下

これらの症状は造影剤を使用直後から1時間以内に起こることがほとんどですが、ごくまれに検査終了数時間～数日後に症状が現れることもあります。その場合は、直ちに病院へ連絡してください。万が一、副作用が生じた場合は、保険診療で最善の処置、治療を行います。

◆ 血管外漏出について

造影剤を勢いよく注入するため、血管外に造影剤が漏れることがあります。場合によっては処置が必要となることがあります。

◆ 食事について

腹部や骨盤部を検査する方は、**検査3時間前から絶食**です。

◆ 授乳中の患者様について

造影剤投与後24時間以内の母乳への移行は投与量の0.04%未満、乳児の消化管からの吸収は1%未満です。ごくわずかなので、通常通り授乳することができます。ただし、気になる方は造影剤投与後24時間授乳を控えてください。

以上の点を踏まえ、少しでも安全な検査を行うために「同意書」へご署名をお願いします。なお、同意はいつでも撤回できます。

また、同意のご署名がある場合でも検査担当医の判断により、MR造影剤を使用しない場合もありますのでご了承下さい。